

『アジア経済』総目次

——第33巻第1号～第12号——

No. ページ	No. ページ
中国の対外経済政策の展開と成果……今井理之…1…2	民行動党の「党支配」……………佐藤考一…7…45
中国の経済改革と都市部門の所得分配	南部アフリカ諸国における民主化の問題について……………小田英郎…8…5
（Ⅰ）……………杜 進…1…27	ザンビアにおける経済危機と「党支配」の崩壊——都市住民の動向に注目して——……………小倉充夫…8…19
民政化以後のチリにおける民軍関係の展開(Ⅰ)——文民統制・人権侵害糾明問題を中心に……………吉田秀穂…2…2	アンゴラにおける民主化過程——内戦終結装置としての民主化……………青木一能…8…36
台湾の住宅問題と住宅政策……………川瀬光義…2…18	ナミビアの独立と国家建設……………永原陽子…8…52
中国の経済改革と都市部門の所得分配	南アフリカ共和国の民主化——「対話」から第1回民主南アフリカ会議まで……………林 晃史…8…72
（Ⅱ）……………杜 進…2…32	浙江省温州の民間金融と農村社会……………中生勝美…9…2
ドイモイ下のベトナムの国営企業……………竹内郁雄…3…2	中国共産党の行政担当機構……………唐 亮…9…20
民政化以後のチリにおける民軍関係の展開(Ⅱ)——文民統制・人権侵害糾明問題を中心に……………吉田秀穂…3…20	中国近代における農業技術者の形成と棉作改良問題(Ⅰ)——東南大学農科の活動を中心に……………飯塚 靖…9…45
中国における改革、調整政策のもとでの労働移動……………菊池道樹…4…2	産業組織と開発政策——タイの自動車組立産業の事例——……………池本幸生…10…2
中国鉄鋼業における利潤分配制度改革の「契約論的アプローチによる考察」……………劉 徳強…4…24	アメリカ植民地期フィリピン銀行資本の諸類型……………永野善子…10…20
児童労働と教育——メキシコ首都圏民衆居住区小・中学生の統計的分析……………米村明夫…5…2	中国近代における農業技術者の形成と棉作改良問題(Ⅱ)——東南大学農科の活動を中心に……………飯塚 靖…10…38
規制緩和政策下のインドネシアにおける労働問題と労働行政——1980年代後半のフォーマルセクターを中心に……………水野広祐…5…20	エチオピア政権期における財界と政府の関係——協調関係の破綻とその要因……………星野妙子…11…5
郷鎮企業内の労働市場の研究(Ⅰ)……………巖 善平…5…47	エチオピア政権期における労働組合運動の再編……………佐藤勘治…11…23
開放経済の経済成長理論拡張モデル……………坂井秀吉…6…2	エチオピア政権下の農地改革……………畑 恵子…11…42
インドネシアにおける農村出身女子労働者保護問題——急成長輸出産業と中東への労働力輸出……………水野広祐…6…16	メキシコの工業製品輸出増加と経済自由化政策——企業行動への影響——……………谷浦妙子…12…2
郷鎮企業内の労働市場の研究(Ⅱ)……………巖 善平…6…40	在タイ日系企業における労務管理組織と従業員の組織適応(Ⅰ)……………大野昭彦…12…19
産業政策と国際競争力——メキシコと韓国の自動車産業の比較……………谷浦妙子…7…2	タイの労働市場——季節性と低雇用問題——……………渡辺真知子…12…34
韓国の資本ストック変動と経済成長——製造業の分析を中心として——……………韓 福相…7…29	
グループ代表選挙区(GRCs)制とシンガポール総選挙——過渡期を迎えた人	

〈研究ノート〉

経済調整下の郷鎮企業の動向と役割

—無錫県日鎮村営企業の事例調査—

……………佐藤 宏…2…42
……………大島 三

ジャワの伝統稲作における農具と役畜

—犁と牛・水牛を中心にして—

……………大木 昌…3…37

インド西部における綿繰り工程の機械

化と綿花生産の拡大—19世紀中葉か

ら20世紀初頭— ……………石橋勇次…4…41

タイにおける地域間格差……………谷沢弘毅…6…56

モザンビーク民族抵抗 (MNR) の性格

と政党化の可能性……………林 晃史…8…94

中国の基層行政組織とサービス部門

—北京市郊外の「街道」の調査報告と

資料— ……………立石昌広…9…63

チッタゴンのリクシャワラ —「ムラ」

と「マチ」とを繋ぐもの— ……………高田峰夫…10…61

チリの選挙制度の歴史の変遷に関する

一考察 (I) — 民政化以後の選挙制度

改革問題と関連して— ……………吉田秀穂…11…60

パキスタンの麻薬問題—ヘロインの蔓

延— ……………中野勝一…12…50

チリの選挙制度の歴史の変遷に関する

一考察 (II) — 民政化以後の選挙制度

改革問題と関連して— ……………吉田秀穂…12…65

〈特別連載〉

発展途上国のビジネス・グループ 第3～8回

バンコク銀行グループ (I) — タイの金

融コングロマリット……………末廣 昭…1…42

バンコク銀行グループ (II) — タイの金

融コングロマリット……………末廣 昭…2…58

サリム・グループ — 東南アジア最大の

コングロマリットの発展と行動原理—

……………佐藤百合…3…54

PNB (国営持株会社) — マレーシア経

済再編の支柱— ……………原不二夫…4…55

ラッキー金星グループ — 財閥体質の改

革を目指す— ……………谷浦孝雄…6…72

台南幫— “バナナ型” ビジネス・グルー

プの生成と展開— ……………沼崎一郎…7…71

〈資 料〉

マラヤ共産党元幹部会見記……………原不二夫…7…88

〈現地報告〉

ミャンマー軍事政権 (SLORC) の政治

姿勢について (II)……………伊野憲治…1…63

西北区工業合作運動関係者に対するイ

ンタビュー— 抗日戦争時期、国内内

戦期、そして現在— ……………菊池一隆…5…67

〈書評論文〉

ポブラドーレスの声—チリ都市下層民

の証言をめくって— ……………高橋正明…4…73

〈書 評〉

P・ハーシュ著『タイ農村開発のディ

レンマ』……………重富真一…1…72

田坂敏雄著『タイ農民層分解の研究』

……………東 茂樹…1…76

中西徹著『スラムの経済学—フィリピ

ンにおける都市インフォーマル部門—』

……………野上裕生…1…80

羽田正・三浦徹編『イスラム都市研究

—歴史と展望—』……………加納弘勝…2…71

T・G・ロウスキー著『日中戦争前に

おける中国の経済成長』……………塚瀬 進…2…76

B・J・T・カークヴリート著『フィ

リピンにおける日常政治—中部ルソ

ンの村落における階級・身分関係—』

……………片山 裕…2…80

J・S・ミグダール著『強い社会と弱

い国家—第三世界における国家社会

関係と国家能力—』……………加納弘勝…3…87

白石隆著『運動の時代—ジャワにお

ける大衆的急進主義 1912～26年—』……………関本照夫…4…84

薛琦著『外来要素—中華民国の経済

近代化に対する多国籍企業の貢献—』

……………佐藤幸人…4…87

S・パテル著『労資関係の形成—ア

フマダーバード繊維工業 1918～1939 年一』……………成田範道…4…91	
中島みち著『日中戦争いまだ終らず ——マレー「虐殺」の謎——』……………原不二夫…5…82	
今堀誠二著『中国封建社会の構成』…帆刈浩之…5…90	
B・リントナー著『憤怒——ビルマの民 主化闘争——』……………伊野憲治…5…95	
相田利雄・小林英夫編『成長するアジ アと日本産業』……………深川由起子…6…92	
C・F・スワグマン著『山岳地イエメ ンの開発と変化』……………佐藤 寛…6…95	
岡田裕之著『ソヴェトの生産様式の成 立——スターリン体制の政治経済学的 分析——』……………下原清志…6…102	
S・ローソン著『フィジー民主政治の 挫折』……………春日直樹…7…103	
インドネシア日本占領期史料フォーラ ム編『証言集——日本軍占領下のイン ドネシア——』……………内海愛子…7…107	
ホン・ユン・リー著『社会主義中国の 指導者たち——革命幹部から党テクノ クラートへ——』……………高原明生…7…110	
島田周平著『地域間対立の地域構造 ——ナイジェリアの地域問題——』…室井義雄…8…115	
室井義雄著『連合アフリカ会社の歴史 1879—1979年——ナイジェリア社会経 済史序説——』……………北川勝彦…8…121	
A・サリス；H・シャムス著『構造調 整下のガーナ——農業と農村貧困層へ の影響——』……………高根 務…8…125	
石田浩著『中国農村の歴史と経済 ——農村変革の記録——』……………佐藤 宏…9…85	
K・R・ポレンスケ；陳錫康編『中国 の経済計画と投入・産出分析』……………田畑理一…9…89	
小川雄平編『アジア共生の時代——開 発と環境の調和を求めて——』……………青木 健…9…93	
S・チャン著『東アジアのダイナミズ ム——太平洋地域における成長、秩序と 安全——』……………菅 英輝…9…97	
J・C・ウィリアムス；B・D・ライ ト著『貯蔵と商品市場』……………黒崎 卓…10…81	
山影進著『ASEAN——シンボルからシ	

ステムへ——』……………黒柳米司…10…86	
末廣昭・南原真著『タイの財閥——フ ァミリー・ビジネスと経営改革——』 ……………安田 靖…10…90	
絵所秀紀著『開発経済学——形成と展 開——』……………梶原弘和…10…94	
加藤光一著『アジア的低賃金の《基軸》 と《周辺》——日本と韓国の低賃金シ ステム——』……………滝沢秀樹…11…78	
松原正毅編『王権の位相』……………江川 温…11…82	
山口博一著『地域研究論』……………土屋健治…11…86	
A・Y・ソー著『社会変化と発展——近 代化論、従属論、世界システム論——』 ……………加納弘勝…11…90	
白石隆著『インドネシア——国家と政 治——』……………梅澤達雄…11…96	
A・マッキンタイヤー著『インドネシ アのビジネスと政治』……………大形利之…12…81	
滝沢秀樹著『韓国の経済発展と社会構造』 ……………文 京 洙…12…86	
桑原哲也著『企業国際化の史的分析—— 戦前期日本紡績企業の中国投資——』 ……………泉 武夫…12…90	
P・ドゥース；R・H・マイヤース； M・R・ベティ編『中国における日 本非公式帝国主義 1895—1937』 ……………小林 英夫 祖父江利衛…12…94	
山本有造著『日本植民地経済史研究』 ……………金子文夫…12…98	

〈その他〉

日本・東南アジア関係の史実と評価 ——原不二夫著『英領マラヤの日本人』 をめぐって——……………清水 達三 原不二夫他…3…93	
発展途上国研究奨励賞受賞作品の講評 ……………原洋之介…7…115 島野卓爾…7…115 古賀正則…7…116	
特集「南部アフリカ諸国の民主化の潮 流」にあたって……………林 晃史…8…2	
特集「現代メキシコの政治・経済危機 とエチェベリア政権 1970～76年」 にあたって……………星野妙子…11…2	

編集部に寄贈していただいた書籍

(1992年5月～、順不同)

倉沢愛子『日本占領下のジャワ農村の変容』草思社 1992年。
 土生長穂・小島延夫編『環境破壊とたたかう人びと』アジアの人々を知る本 1 大月書店 1992年。
 土生長穂・宇崎真編『新しい文化をつくる人びと』アジアの人々を知る本 2 大月書店 1992年。
 丸山利加・加藤益雄編『働く人びと』アジアの人々を知る本 3 大月書店 1992年。
 松下冽編『支配する人びと』アジアの人々を知る本 4 大月書店 1992年。
 文京洙編『アジアで生きる人びと』アジアの人々を知る本 5 大月書店 1992年。
 土生長穂・徳永俊明・松下冽編『新版 第三世界への視点』大月書店 1992年。
 石井米雄・辛島昇・和田久徳編『東南アジア世界の歴史的位相』東京大学出版会 1992年。
 轟莉莉『劉堡——中国東北地方の宗族とその変容——』東京大学出版会 1992年。
 東京大学社会科学研究所『現代日本社会 7 国際化』東京大学出版会 1992年。
 洞口治夫『日本企業の海外直接投資——アジアへの進出と撤退——』東京大学出版会 1992年。
 鐸木昌之『北朝鮮——社会主義と伝統の共鳴——』東京大学出版会 1992年。
 天兒慧『中国——溶変する社会主義大国——』東京大学出版会 1992年。
 若林正丈『台湾——分裂国家と民主化——』東京大学出版会 1992年。
 中兼和津次『中国経済論——農工関係の政治経済学——』東京大学出版会 1992年。
 緒方貞子著 添谷芳秀訳『戦後日中・米中関係』東京大学出版会 1992年。
 川端正久・佐々木建編『南部アフリカ——ポスト・アパルトヘイトと日本——』勁草書房 1992年。
 嶺野修『コミンテルンと帝国主義1919-1932——諸家による「相対的安定期の資本主義」論の位相と構図——』勁草書房 1992年。
 敵善平『中国経済の成長と構造』勁草書房 1992年。
 伊豫谷登志翁・梶田孝道編『外国人労働者論——現状から理論へ——』弘文堂 1992年。
 喜田昭治郎『毛沢東の外交——中国と第三世界——』法律文化社 1992年。
 小浜裕久『ODAの経済学』日本評論社 1992年。
 梅原弘光『フィリピンの農村——その構造と変動——』古

今書院 1992年。
 菅英輝『米ソ冷戦とアメリカのアジア政策』ミネルヴァ書房 1992年。
 井尻秀憲『現代アメリカ知識人と中国——知と情念のフロンティア——』ミネルヴァ書房 1992年。
 富田正史『スーダンにおける国民統合』晃洋書房 1992年。
 ウォルター・ラフィーバー著 久保文明他訳『アメリカの時代——戦後史のなかのアメリカ政治と外交——』芦書房 1992年。
 上東輝夫『現代ラオス概説』同文館 1992年。
 松岡完『20世紀の国際政治』同文館 1992年。
 平川均『NIES——世界システムと開発——』同文館 1992年。
 内藤昭編『中国の国際経済戦略』同文館 1992年。
 ヘリンダ・A・アキノ著 伊藤美名子訳『略奪の政治——マルコス体制下のフィリピン——』同文館 1992年。
 四戸潤弥『イスラム世界とつきあう法——外交・ビジネスから男女関係まで——』東洋経済新報社 1992年。
 トラン・ヴァン・トゥ『産業発展と多国籍企業』東洋経済新報社 1992年。
 岡部達味『ポスト・カンボジアの東南アジア』日本国際問題研究所 1992年。
 藤家禮之助編『アジアの歴史』南雲堂 1992年。
 山本繁緯『国際労働移動の経済学』関西大学出版部 1992年。
 天兒慧『歴史としての鄧小平時代』東方書店 1992年。
 森正夫編『江南デルタ市鎮研究』名古屋大学出版会 1992年。
 小野五郎『実践的産業政策論』通商産業調査会 1992年。

Beatrice Leung, *Sino-Vatican Relations: Problems in Conflicting Authority 1976-1986*, Cambridge, Cambridge University Press, 1992.

G. Balfour-Paul, *The End of Empire in the Middle East: Britain's Relinquishment of Power in Her Last Three Arab Dependencies*, Cambridge, Cambridge University Press, 1991.

P.D. Little, *The Elusive Granary: Herder, Farmer, and State in Northern Kenya*, Cambridge, Cambridge University Press, 1992.

F.M. Barnard, *Pluralism, Socialism, and Political Legitimacy*, Cambridge, Cambridge University Press, 1991.